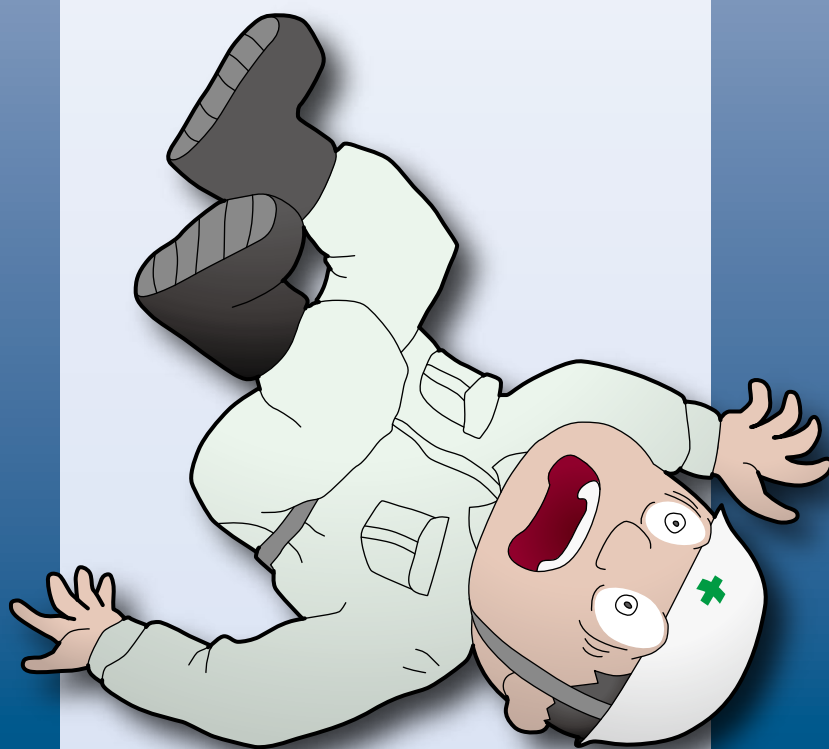


墜落・転落事故を なくそう！

ver.5

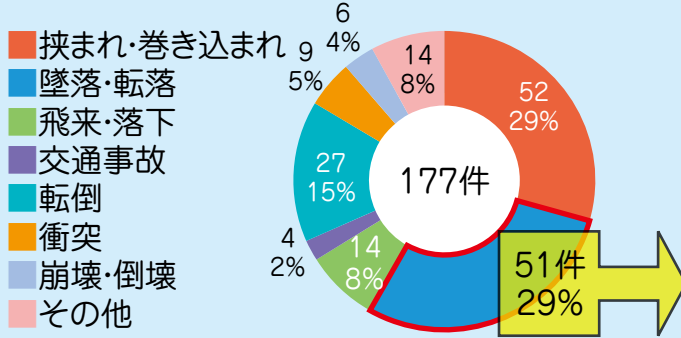


東京都水道局

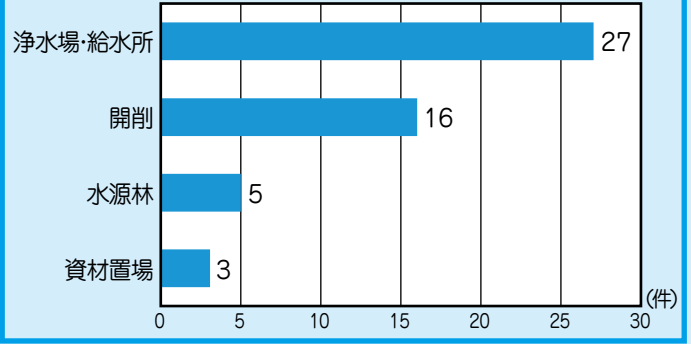
グラフで見る工事事故

◆東京都水道局の工事中や維持管理における事故発生状況(レベルI以上※) ※休業4日以上の負傷または死亡事故

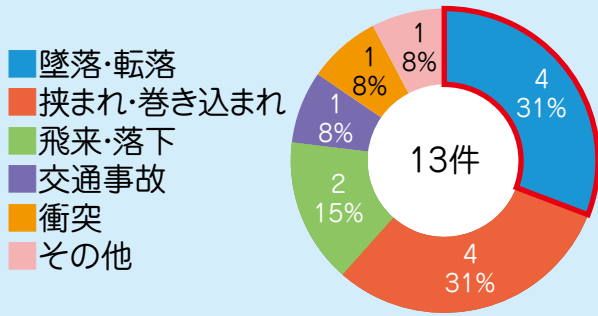
人身事故原因別件数及び割合
(H9からH26)



墜落・転落事故発生場所
(H9からH26)

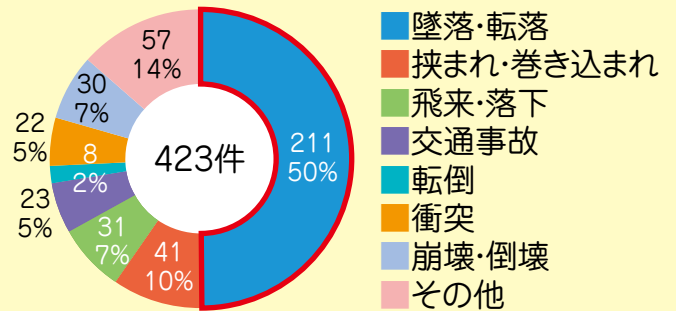


死亡事故原因別件数及び割合
(H9からH26)



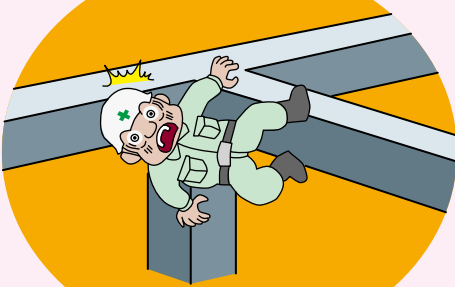
◆東京都内の建設業における死亡事故

死亡事故原因別件数及び割合
(H14からH26)



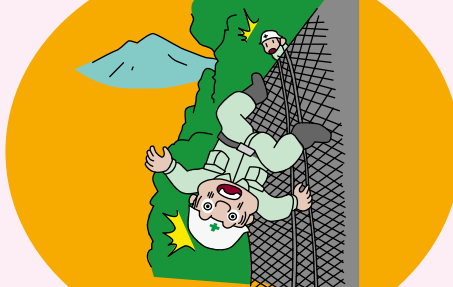
水道局の工事や作業で実際に発生した墜落・転落事故例

浄水場補修工事(死亡)



作業用足場を設置中、コンクリートはりから足を踏み外し墜落

林道補修工事(死亡)



落石防止網を設置中ネット上部から転落

管路布設工事(重傷)



掘削穴に墜落

浄水場沈でん池(溺死)



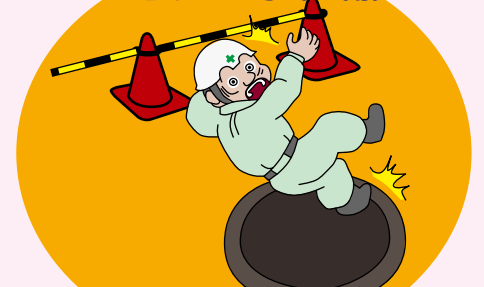
清掃中、照明が消えたため、下部の池に墜落

剪定作業(重傷)



枝から枝へ移る際、バランスを崩し墜落

管路布設工事(重傷)



開口部からの墜落

労働安全衛生規則（足場関係）が改正されました

- 「足場」、「架設通路」及び「作業構台」からの墜落防止措置等に関する改正です。
- 平成27年7月1日から施行されております。
- 「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱」も平成27年5月に改正されました。
- ※詳しくは、厚生労働省のリーフレットを御覧いただくか、所轄の労働基準監督署にお問い合わせ下さい。

改正例① 足場の組立て等の作業に係る特別教育の追加（安衛則第36条・39条）

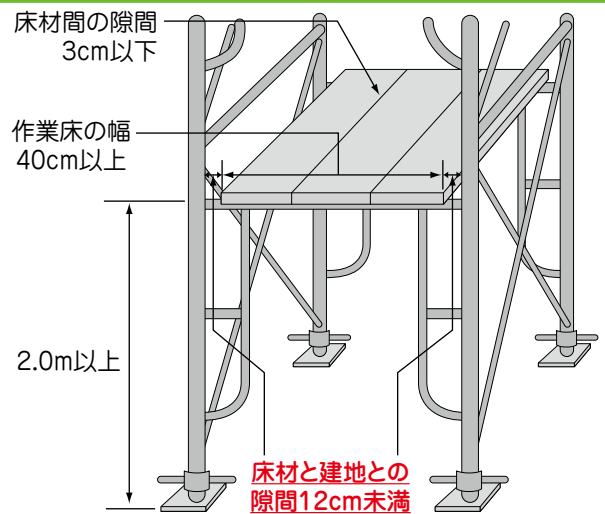
- 足場の組立て等の作業に係る業務（地上又は堅固な床上での補助業務を除く。）を特別教育の対象とし、**事業者は業務に就く労働者に対し、特別教育を行うこと。**

科目	時間	時間(現在業務従事者)
1 足場及び作業の方法に関する知識	3時間	1時間30分
2 工事用設備、機械、器具、作業環境等に関する知識	30分	15分
3 労働災害の防止に関する知識	1時間30分	45分
4 関係法令	1時間	30分

※適用日時点で、足場の組立て、解体又は変更の作業に係る業務に就いている方(現在業務従事者)

改正例② 足場の作業床に関する墜落防止措置の充実（安衛則第563条）

- 高さ2m以上の足場における作業床の要件として、**床材と建地との隙間を12cm未満**とすることを追加
- 足場用墜落防止設備を**取り外す場合の措置の追加**
 - ◇安全带取付け設備等の設置及び安全带を使用させる措置を講ずること。
 - ◇関係労働者以外の者の立入りを禁止すること。
 - ◇作業が終了した後、直ちに取り外した設備を元の状態に戻さなければならないこと。



改正例③ 足場の組立て等の作業に関する墜落防止措置を充実（安衛則第564条）

改正前

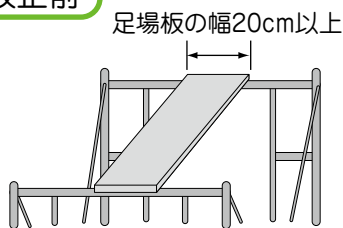
- 組立て（解体・変更）高さが5m以上の構造の足場を対象とする。

改正後

- 組立て（解体・変更）高さが**2m以上**の構造の足場を対象とする。

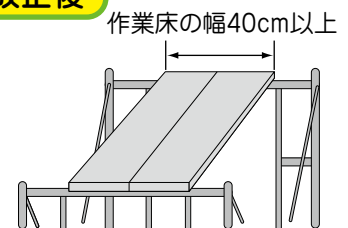
改正前

- 足場材の緊結等の作業を行う際は、幅20cm以上の足場床を設けること。



改正後

- 足場材の緊結等の作業を行う際は、**幅40cm以上の作業床**を設けること。

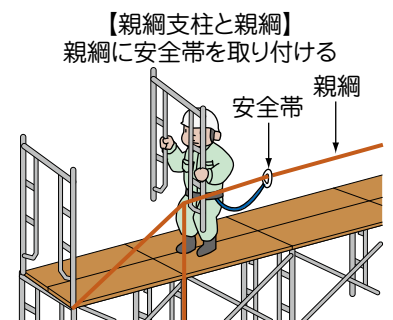
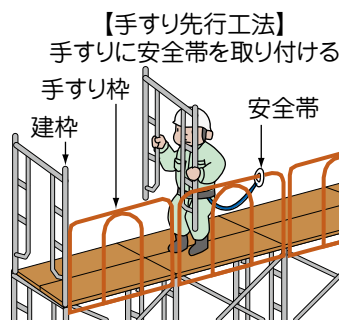


改正前

- 足場材の緊結等の作業を行うときは、労働者に**安全带を使用させる等労働者の墜落による危険を防止するための措置を講ずること。**

改正後

- 足場材の緊結等の作業を行う際は、**安全带取付け設備等の設置及び安全带を使用させる措置を講ずること。**



改正例④ 鋼管足場（単管足場）に関する規定の見直し（安衛則第571条）

改正前

○規格に適合する鋼管足場のうち単管足場について、建地の最高部から測って31mを超える部分の建地は鋼管を2本組とすること。

改正後

○建地の下端に作用する設計荷重が**最大使用荷重を超えないときは、鋼管を2本組とすることを要しないものとする。**

改正例⑤ 足場組立て・解体後の注文者(元請等)による点検義務の強化(安衛則第655条)

改正前

○特定事業の仕事を自ら行う注文者が請負人の労働者に足場又は作業構台を使用させる場合であって、強風等の悪天候、中震以上の地震の後においては、足場又は作業構台における作業を開始する前に、当該足場の状態等について点検し、危険のおそれがあるときは、速やかに修理すること。

改正後

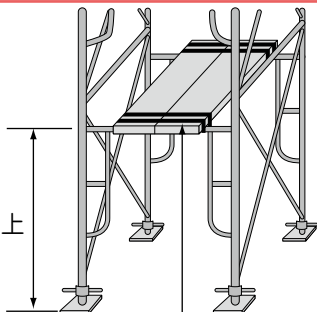
○改正前に加えて、**足場又は作業構台の組立て、一部解体又は変更の後においても、足場又は作業構台における作業を開始する前に、当該足場の状態等について点検し、危険のおそれがあるときは、速やかに修理すること。**

手すり・ネットの設置は、法令等で義務付けられています

◇墜落・転落危険箇所での安全対策

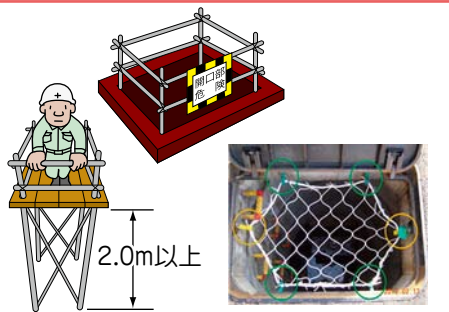
①高さ2m以上の箇所での作業

●作業床を設置する。
(安衛則第518条)



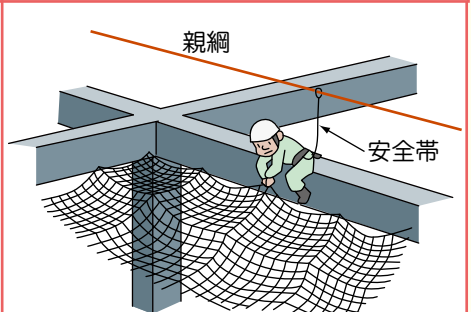
※作業床はゴムバンド、番線等で固定する

●作業床の端、開口部等には
囲い、手すり、覆い等を設置
する。(安衛則第519条)

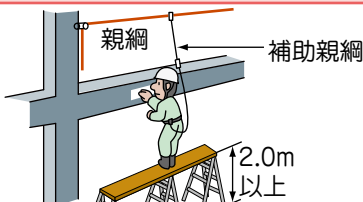


墜落防止ネットの設置例

●作業床や囲い等設置が困難な
場合は、ネットを設置し安全帯
を使用する。(安衛則第518条・519条)



●労働者は、安全帯等の使用
を命じられたときは、これを
使用する。(安衛則第520条)

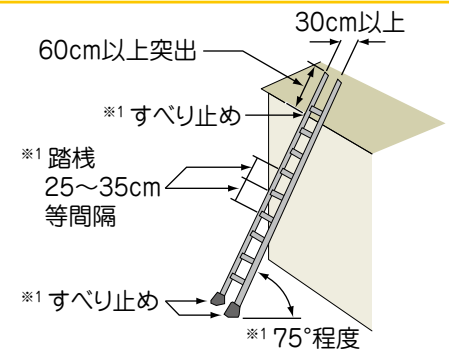


法面作業中の安全帯使用例

②高さ・深さ1.5mを超える箇所での作業

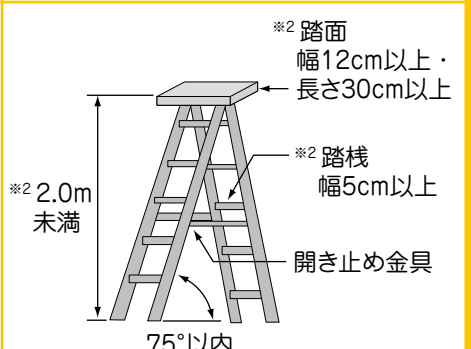
●昇降設備等を設置する。(安衛則第526条)

●移動はしごの場合(安衛則第527条-556条)



※1 安発第100号
昭和43年6月14日付より

●脚立の場合(安衛則第528条)



※2 仮設工業会
「仮設機材認定基準とその解説」より